

根太工法用フローリング

施工業者様用

【床暖房に施工する場合】

〈施工説明書〉



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・接着剤・釘の併用施工ができない床暖房は使用しない。
床暖房対応の床材を使用して床暖房を施工する場合は、必ず当社指定の接着剤・釘の併用で施工してください。
(詳しくは床暖房メーカーにお問い合わせください。)

注意!

・パネルの釘打ち位置注意。
パイプなどの釘打ち禁止部に釘打ちしないでください。水漏れや故障の原因となります。
・フロアコーティングは推奨していません。
推奨ワックスをご使用ください。
(フロアコーティングは、はがれ・床鳴り等の不具合を発生させることがあります。)

・適合発熱パネルの確認。
適合しない発熱パネルを使用すると荷重による破損や踏み鳴りまたは事故の原因となるおそれがあります。

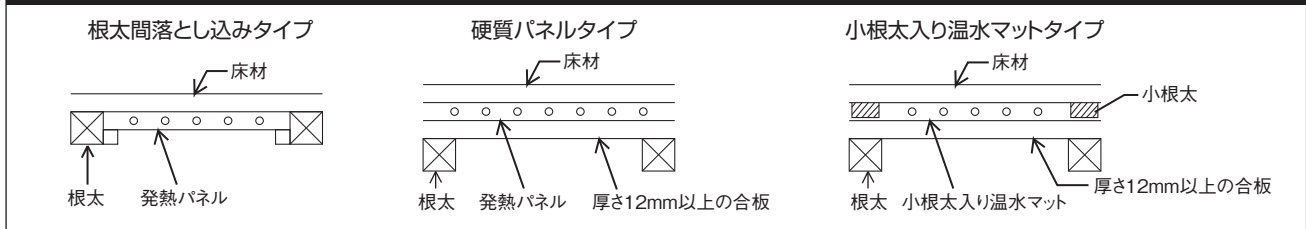
※床暖房を使用する場合は、必ず床暖房施工に対応した施工方法をお守りください。
また床暖房を施工する場合は、必ず床暖房に対応した床材を使用してください。

① 下地の確認(施工)※同梱の施工説明書をご覧ください。

●発熱パネルの設置

床暖房対応フローリングは、釘・接着剤併用により、床暖房発熱パネルの上に施工するタイプです。
適合する発熱パネルはカタログを参考にしてください。適合しない発熱パネルは使用しないでください。

温水式床暖房のタイプの例



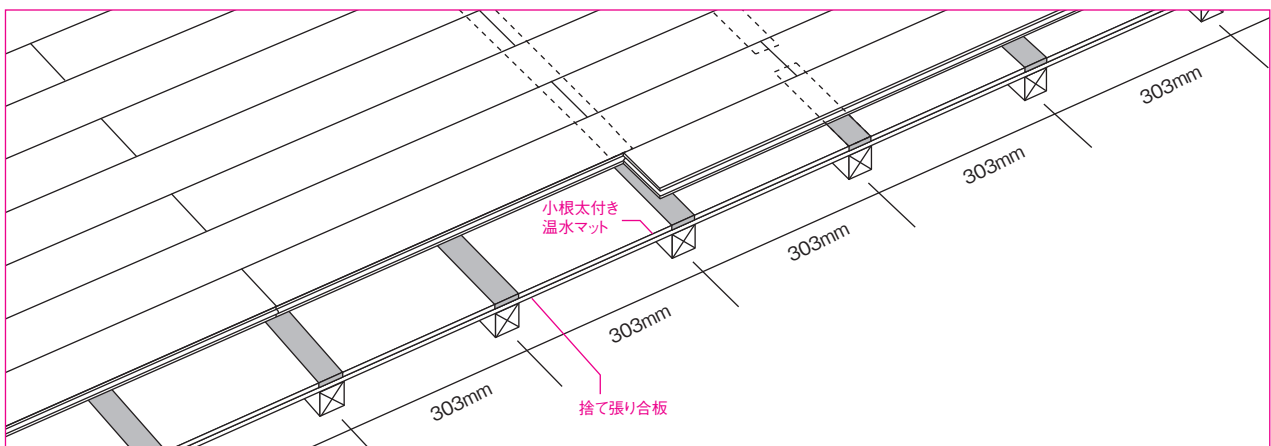
●小根太入り温水マットタイプの場合

- 小根太付き温水マットとフローアの適合を確認したうえで施工を行ってください。
- 小根太とフローアが直交するように割り付けてください。
- 小根太付き温水マットは各メーカーの施工要領に従って施工してください。

●小根太入り温水マットタイプ以外の発熱パネルの場合

- 発熱パネルとフローアの適合を確認したうえで施工を行ってください。
- 発熱パネルは各メーカーの施工要領に従って施工してください。
- 発熱パネルの周辺の副資材(合板等)との段差が1mm以下になるように仕上げてください。
- 根太間、または根太下には発熱パネルメーカーが指示する断熱材を設置してください。

② フローアの割り付け



③ 接着剤の塗布方法

■ 指定接着剤

メーカー	品番	接着剤タイプ
ウッドワン	捨て張り/根太工法用接着剤 ZX0223 (床暖房・非床暖房共用)	ウレタン樹脂系接着剤

その他推奨指定接着剤

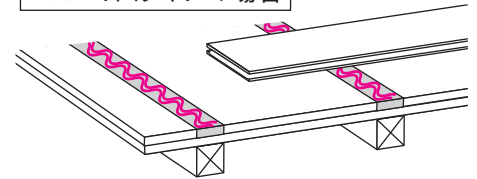
メーカー	品番	接着剤タイプ
(株)セメダイン	フロアロック110	変成シリコン樹脂系接着剤
コニシ(株)	ボンドKU928C-X PX280	ウレタン樹脂系接着剤 変成シリコン樹脂系接着剤
(株)オーシカ	セレクトィMS-330	変成シリコン樹脂系接着剤
(株)日本アクア	アクアタイト	変成シリコン樹脂系接着剤
積水フーラー(株)	床根太・床仕上げ接着剤#55-S	変成シリコン樹脂系接着剤
アイカ工業(株)	JW-400NF/K/K4(床棟梁) SE-770(爽床)	ウレタン樹脂系接着剤 変成シリコン樹脂系接着剤

※上記の接着剤からお選びください。

※酢酸ビニル系(白ボンド)・アクリル系エマルジョンなどの水性系接着剤は使用しないでください。

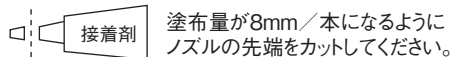
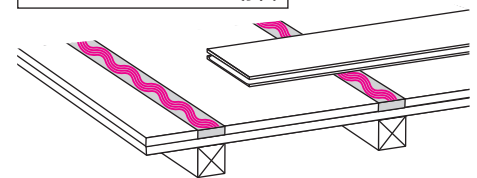
- ①弊社指定の接着剤を小根太上に303mm間隔で塗布してください。
※発熱パネルタイプの場合は釘打ち可能位置に303mm間隔で塗布してください。

ノズル1口タイプの場合



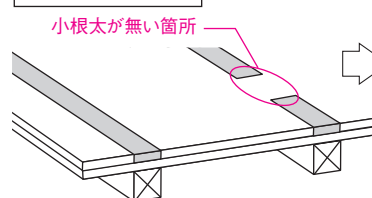
- ②短辺接続部分は両方のフローア裏面に充分付着するように塗布してください。
※接着剤カートリッジのノズル1口タイプの場合、短辺接続部分には両方のフローア裏面に充分付着するように2列に塗布してください。
(接着剤の太さ約8mm/本が目安。塗布量:約150g/m²)
※接着剤カートリッジのノズル4口タイプの場合、短辺接続部分には両方のフローア裏面に充分付着するように塗布してください。
(接着剤の太さ約4mm/本が目安。塗布量:約150g/m²)

ノズル4口タイプの場合

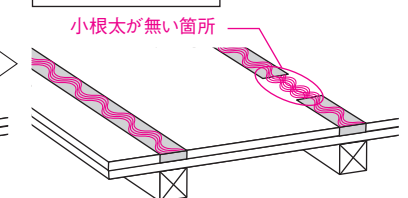


- ③温水パイプ配管コーナー部の小根太がない箇所には接着剤塗布量を増やしてください。

接着剤塗布前



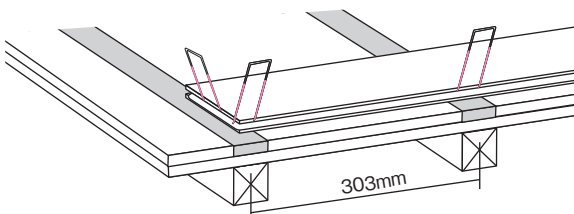
接着剤塗布後



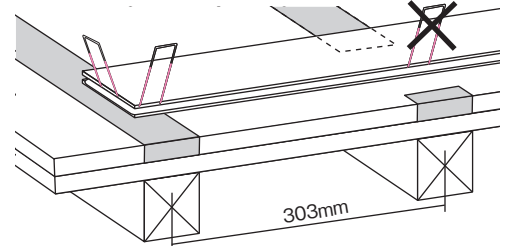
- ④短辺オスザネ下部への接着剤塗布※同梱の施工説明書をご覧ください。

⑤ 釘打ち

- ※フローアの短辺、長辺のサネ接続は小根太上になることを確認した上でフローア施工を始めてください。
釘打ちはフローアを押さえ、フローアと下地をしっかりと密着させた状態で釘打ちしてください。



フローアの長辺方向303mmピッチ、短辺方向(エンドマッチ部)1カ所、弊社指定の接着剤付きフローア用ステーブルもしくは、フローアネイルを根太上に打ち込んでください。



※温水パイプ配管コーナー部の小根太が無い箇所については釘打ち厳禁です。

⚠ 注意

フローア施工後、接着剤が硬化するまで(1週間以上)、絶対に床暖房および暖房機器の使用は避けてください。フローアのサネ接続部の隙間発生などの原因となるおそれがあります。